

みずほCustomer Desk Report 2017/04/11 号(As of 2017/04/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.22	1.0581	117.69	1.0095	1.2370	0.7506
SYD-NY High	111.59	1.0607	118.07	1.0108	1.2429	0.7508
SYD-NY Low	110.81	1.0570	117.47	1.0075	1.2367	0.7476
NY 5:00 PM	110.94	1.0599	117.51	1.0084	1.2417	0.7501
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.925/11.35		△25RR	1.905	Yen Call Over	
NY DOW	20,658.02	1.92	債券市場	日本2年債	-0.2050	0.4bp
NASDAQ	5,880.93	3.11		日本10年債	0.0590	▲0.2bp
S&P	2,357.16	1.62		米国2年債	1.2741	▲1.2bp
日経平均	18,797.88	133.25		米国5年債	1.8998	▲2.0bp
TOPIX	1,499.65	9.88		米国10年債	2.3661	▲1.6bp
シカゴ日経先物	18,810	▲30.00	為替市況	独10年債	0.2070	▲2.1bp
ロンドンFT	7,348.94	▲0.43		英10年債	1.0770	0.2bp
DAX	12,200.52	▲24.54		豪10年債	2.5730	2.2bp
ハンセン指数	24,262.18	▲5.12		USD/CNH	6.9055	0.0088
上海総合	3,269.39	▲17.22		ドルインデックス	101.02	▲0.16
USDJPY 3M Vol	9.73	▲0.05%	商品市況	CRB指数	187.627	0.52
USDJPY 6M Vol	9.59	0.02%		NY金	1,253.90	▲3.40
EURJPY 3M Vol	12.39	0.03%		WTI	53.08	0.84
EURJPY 6M Vol	11.28	0.09%		Dubai Spot	53.91	0.03

東京	オセアニア時間(11:00)につけたものの、先週金曜日に回復した111円台を割り込むには至らず、111円台前半で推移。東京時間オープン前に発表された本邦2月経常収支は2兆8,130億円の黒字と予想(同2兆5,129億円の黒字)を上回る黒字額であったものの、ドル円相場への影響は限定的。斯かる状況下、ドル円は111.22レベルで東京時間オープン。米10年債利回りが約1週間ぶりに2.38%台に載せて推移し、高寄した日経平均株価も底堅く推移する中、ドル円は111.59の高値をつける。但し、目先はイエレンFRB議長の講演、米国の為替報告書の公表、日米経済対話の開始が予定されているほか、北朝鮮が複数の記念日を迎えることから地政学リスクも意識される状況で、更なる上値追いとはならなかった。午後に入るとブラッド・セントリス連銀総裁から「差し迫った利上げの必要性はない」、「個人的には年内にあと1度の利上げを予想」、「FEDのB/S縮小の年内開始は可能」とのコメントが報じられ、米金利が小緩んだことも相場の重石となった。結局ドル円は111円台前半の推移が継続し、111.32レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は材料難の中、111円台前半で小動き。朝方は111.32レベルでオープン、原油は上昇したものの、欧州株が軟調推移となる中でクロス円が全般的に上値重く推移し、ドル円も111.19までじり安となった。その後小幅に値を戻し、111.32レベルでNYへ渡った。ポンドドルも目新しいニュースがない中、イースター休暇を控えて動意が乏しく、1.24ちょうど近辺でレンジ推移。朝方は1.2390レベルでオープンし、高値1.2407まで上昇し、1.2396レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は111円台前半での推移が続き111.32レベルでNYオープン。朝方は「トランプ政権が原子力空母カール・ビンソンを朝鮮半島周辺に派遣」、「中国が15万人の兵士を北朝鮮国境に配置」との報道を受けて、地政学的リスクの高まりからリスク回避の動きが一気に強まり、堅調に推移していた米株がマイナスイメージを急落すると、ドル円はオセアニア時間安値の111.00を下げ、この日の安値の110.81まで下落。しかし、2日に再開したばかりの北アフリカのシラク油田が一部勢力による妨害行為で再び閉鎖されたことや、シリア・朝鮮半島を巡る地政学リスクの高まりを受けてWTI原油価格が53ドルまで続伸する動きとなると、ドル円は下げ止まった。その後は110.90を挟んでのレンジ推移となり110.94レベルで海外に渡った。なお、午後4時からのイエレン議長の講演では従来通りスタンスを踏襲し、目新しい発言は出てこなかった。一方ユーロドルは1.0576レベルでNYオープン。朝方は米・中と朝鮮半島の地政学リスクの高まりから米長期金利が下落したことから1.0607まで上昇。しかし、今月23日にはフランス大統領選挙を控えていることから積極的な上値を追っていく展開とはならず、1.0590まで値を戻し、1.0599レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:橋・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月10日	08:50	貿易収支/経常収支	2月 ¥1,076.8B/¥2,813.6B	¥981.7B/¥2,512.9B
	09:00	黒田日銀総裁 支店長会議挨拶	-	-
	12:05	ブラッド・セントリス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	労働市場情勢指数	3月 0.4	0.8
4月11日	05:00	イエレンFRB議長 講演	-	-

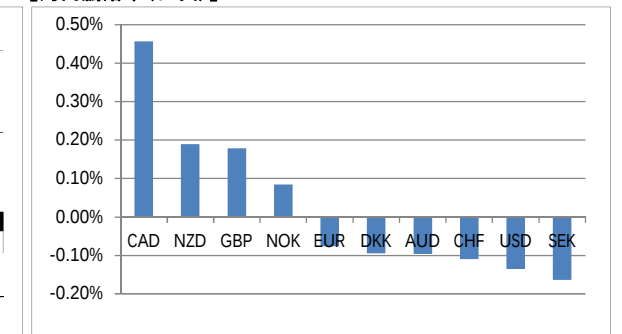
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月11日	15:00	工作機械受注(前年比)・速報	3月 -	9.1%
	17:30	CPX(前月比/前年比)	3月 0.3%/2.3%	0.7%/2.3%
	17:30	PPI(前月比/前年比)	2月 0.1%/3.4%	0.2%/3.7%
	18:00	ZEW調査(現状/期待)	4月 77.5/14.5	77.3/12.8
	18:00	鉱工業生産・季調済(前月比/前年比)	2月 0.1%/1.9%	0.9%/0.6%
	18:00	ZEW調査(期待)	4月 -	25.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.10-111.10	1.0550-1.0650	117.00-118.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円は、小幅下落。地政学リスクの高まりに加え、前週末にドルが買われた反動でドル売り地合いとなる中、ドル円はじり安で推移。また、イエレンFRB議長のタカ派な発言期待からドル円は111.11円まで上昇する場面も見られたが、発言は緩やかなペースでの利上げを計画するとの従来スタンスを踏襲する内容に留まったことから、過度な期待感が剥落。ドル円は発言後に下落基調を辿り、日中安値圏での引けとなった。本日のドル円は、動意に乏しい展開を予想する。足元の相場環境としては、仏大統領選を前に全般的に方向感に欠ける展開が継続。地政学リスクの高まりやイースター休暇を控えていることから、株式市場では積極的に上値を追っていくような展開には至っておらず、ドル円についても先週の雇用統計前の水準を維持しており、積極的な売買のイントも特段見られないことから、本日は110円台を中心とした小幅レンジ推移となろう。